

探究・校務改革  
支援補助金  
2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

# 効果報告レポート

【事業者名】

Edv Future株式会社

【サービス名称】

生きる力を育む成長支援サービス「Edv Path(エデュパス)」

【サービスの支援項目】

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

カテゴリ2-2 教職員の業務効率化・省力化 オプションサービス

2026年1月

EduPath

「生きる力」を育む  
成長支援サービス

エデュ・パス



GOOD DESIGN AWARD  
2022年度受賞



# ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス



## Edu Path 非認知能力の可視化で、教職員の業務をサポート!

「非認知能力(ポテンシャルティ)」に着目し、生徒一人ひとりの非認知能力を可視化・数値化したのち、データとして蓄積。生徒の成長支援を行い、学習意欲を向上させるための最適なカリキュラムやフィードバック等を提案することで生徒個々の特性や進度に応じた、包摂的かつ公平で質の高い学びやその環境づくりを支援します。

### 非認知能力育成プログラム

#### 能力を育成する教育プログラム

クラス授業で利用する教材と  
個々のコーチングプラン



指導案/プリント/スライド/回答例を提供。  
教師の準備時間を大幅削減。

生徒の能力を効率的に育成するための最適な教材を実施。  
探究学習の土台作りを実施することで生徒の個性を活かすための環境づくりが可能に。



### 生きる力(非認知能力)の可視化

#### 見えない学力の測定

生徒のアンケート回答をもとに、  
9つの項目で分析



回答時間: 10分程度  
設問数: 実施する測定項目によって異なります。

測定結果は即時反映。

Edu Pathのアカウント上や個別レポートとして結果を確認。生徒自身の特性や個性を一目で把握し、探究を通じた効果をEdu Pathが分析!



# ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

カテゴリー2-2 教職員の業務効率化・省力化 オプションサービス



## Edu Path 非認知能力の可視化で、教職員の業務をサポート!

「**非認知能力(ポテンシャルティ)**」に着目し、生徒一人ひとりの非認知能力を可視化・数値化したのち、データとして蓄積。生徒の成長支援を行い、学習意欲を向上させるための最適なカリキュラムやフィードバック等を提案することで生徒個々の特性や進度に応じた、包摂的かつ公平で質の高い学びやその環境づくりを支援します。

### コンサルティング(サポート体制)

番号	コンテンツ名	概要	補助資料プリント
01	オリエンテーション (Assessment)	HLAのGPTに基くオリエンテーションを行った後、生徒個人が独自の非認知能力を測定するテストを実施し、その結果を基に生徒の非認知能力を可視化する。	
02	アセスメント結果の振り返り(授業前)	アセスメント結果の振り返りを行い、生徒個人が自身の非認知能力を可視化する。また、向上タイムラインを参考にそこから学習すべき項目を抽出し、授業に活用する。	
03	アセスメント結果の振り返り(授業中)	アセスメント結果の振り返りを行い、生徒個人が自身の非認知能力を可視化する。また、向上タイムラインを参考にそこから学習すべき項目を抽出し、授業に活用する。	
04	アセスメント結果の振り返り(授業後)	アセスメント結果の振り返りを行い、生徒個人が自身の非認知能力を可視化する。また、向上タイムラインを参考にそこから学習すべき項目を抽出し、授業に活用する。	
05	ヒストリーラインを作成	生徒個人の非認知能力の成長履歴を可視化し、向上タイムラインを参考にそこから学習すべき項目を抽出し、授業に活用する。	

**オンボーディング支援**  
 導入学校ごとに課題の整理し、Edv Pathを用いることによるゴールなどの設計からご支援

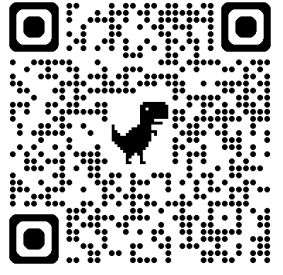


**教員向けの研修**  
 導入ゴールに合わせて、生徒支援DXや探究DXなど各種テーマでの導入研修や活用研修などを状況に合わせて実施

### 導入にかかる費用等

生徒1アカウント月額300円(税抜)~にてご利用いただけます。学校規模・支援内容により個別お見積りをさせていただきます。

▼問い合わせ先



また、学校によってサポート内容のカスタマイズも可能になっております。詳細はお問い合わせフォームからご連絡くださいませ。

弊社担当よりご連絡させていただきます。  
 ※サポート費用は別途お見積りとなります

学校として抱える課題と探究学習で抱える課題の解決をご支援しております。

Edv Pathアセスメントによる客観データによる不登校等の予防指導や自己内省を促す一方、準備不要な教材提供と、データに基づく個別最適化された評価案のレコメンドにより、教員抱えている生徒指導及び校務の負担軽減と質の高い指導を両立させる支援をいたします。

## 児童生徒・教職員が抱える課題

### 〈学校課題〉

- 生徒指導問題: 不登校や退学者数の増加による負担
- 進路指導問題: 総合型選抜入試への対応をはじめとした多様な進路選択への対応

### 〈探究課題〉

- コンテンツ問題: コンテンツ準備と実施の負担感
- 探究評価問題: 評価指標がなく、コンピテンシーの定量化など効果が見えずらい

## サービスが果たす役割

### 〈学校課題〉

- 予防的な生徒指導: 生徒の状況を客観データで可視化し、支援対象・支援内容のフィードバックで予防指導の実現
- 自己内省の促進: 自分自身を見つめる時間をEdv Pathで支援。自己のあり方生き方を考えるきっかけに

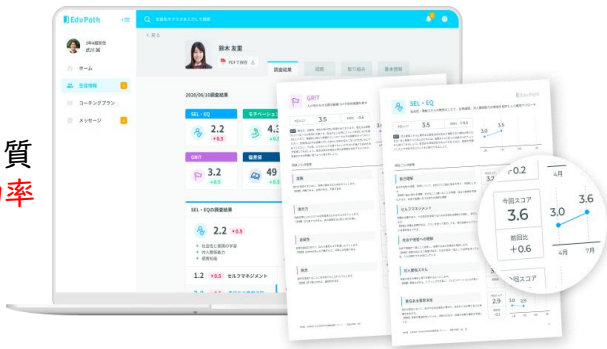
### 〈探究課題〉

- 準備不要なコンテンツ: 指導案・脚本・スライドなど全て完備したSEL育成が可能なコンテンツで探究授業を運営
- 指導要録の参考文章: アセスメントデータと探究の内容から個別最適化された評価案をレコメンド

# ■ サービスの活用風景・授業の流れ(一例)

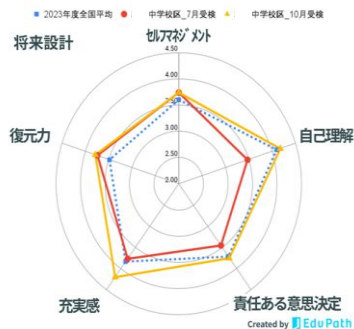
## 成績処理

スクールポリシーや設定した資質能力に合わせて**成績処理の効率化を実施**



## 振り返りと分析

プログラムによってどのような変容が起きているか分析。課題となっている項目を発見し、次回アクションに繋げる



## 生徒の変化を把握

アセスメントを受検し、生徒の非認知能力の変化を可視化する

再びアセスメントを実施することで…

- ☆生徒が**成長を実感&困りや躓きを把握**
- +
- ☆教員の**教育効果の実感**



## シラバスの策定支援

35種の授業コンテンツから学校のカリキュラムポリシーや年間の実施回数に応じてシラバスを策定することで**授業設計の負担軽減**

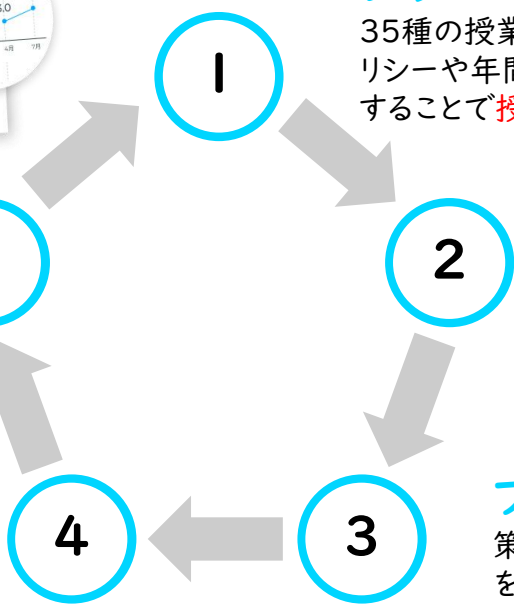
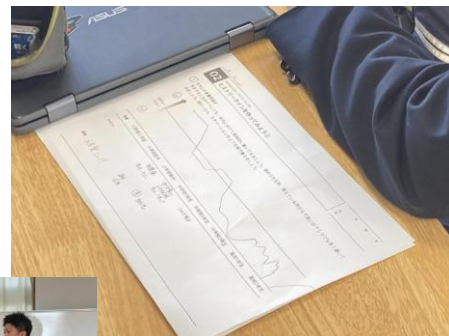
## 生徒の現状を把握

所要時間5分~のアセスメントを受検し、生徒の非認知能力の現在地点を可視化する



## プログラムを実施

策定したシラバスに沿って、探究の授業を実施。授業資料はEdv Pathから取得することで**準備時間を削減**



## ■ 探究・校務改革支援補助金における導入実証実績

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

<b>学校設置者数</b>	<b>36設置者</b>	<b>学校等教育機関数</b>	<b>48学校</b>
---------------	--------------	-----------------	-------------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人北海学園	北海高等学校	北海道	高等学校	1年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
2	学校法人白百合学園	盛岡白百合学園高等学校	岩手県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
3	学校法人岩手橘学園	江南義塾盛岡高等学校	岩手県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
4	学校法人矢野学園	八王子実践高等学校	東京都	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
5	佐倉市教育委員会	佐倉市立西志津中学校	千葉県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
6	茨城県教育委員会	茨城県立土浦湖北高等学校	茨城県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
7	学校法人江戸川学園	江戸川学園取手中学校	茨城県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
8	那珂市教育委員会	那珂市立第一中学校 他6校	茨城県	小学校/中学校	4年生, 5年生, 6年生, 1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
9	学校法人明秀学園	明秀学園日立高等学校	茨城県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
10	長野市教育委員会	長野市立柳町中学校	長野県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
11	西伊豆町教育委員会	西伊豆町立西伊豆中学校	静岡県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
12	学校法人静岡県西遠女子学園	静岡県西遠女子学園中学校・高等学校	静岡県	中学校/高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
13	学校法人聖隷学園	聖隷クリストファー高等学校	静岡県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
14	学校法人常葉大学	常葉大学附属菊川中学校	静岡県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
15	愛知県教育委員会	愛知県立半田高等学校附属中学校	愛知県	中学校	1年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
16	学校法人津田学園	津田学園高等学校	三重県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)

## ■ 探究・校務改革支援補助金における導入実証実績

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
17	三重県教育委員会	三重県立朝明高等学校	三重県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
18	学校法人梅花学園	梅花中学校・高等学校	大阪府	中学校/高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
19	学校法人履正社	履正社高等学校	大阪府	高等学校	3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
20	東大阪市教育委員会	東大阪市立花園北小学校	大阪府	小学校	5年生, 6年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
21	学校法人京都橘学園	京都橘中学校	京都府	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
22	亀岡市教育委員会	亀岡市立南桑中学校	京都府	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
23	学校法人武庫川学院	武庫川女子大学附属中学校・高等学校	兵庫県	中学校/高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
24	兵庫県教育委員会	兵庫県立上郡高等学校	兵庫県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
25	学校法人加計学園	岡山理科大学附属高等学校	岡山県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
26	学校法人美作学園	岡山県美作高等学校	岡山県	高等学校	1年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
27	学校法人鶴学園	広島なぎさ高等学校	広島県	高等学校	1年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
28	国立大学法人福岡教育大学	福岡教育大学附属小倉中学校	福岡県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
29	北九州市教育委員会	北九州市立大蔵中学校 他1校	福岡県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
30	福岡県教育委員会	福岡県立柏陵高等学校	福岡県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
31	学校法人久留米信愛学院	久留米信愛高等学校	福岡県	高等学校	1年生, 2年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
32	学校法人泉心学園	熊本国府高等学校	熊本県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
33	学校法人志學館学園	志學館中等部	鹿児島県	中等部	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
34	鹿児島純心女子学園	鹿児島純心女子中学校・高等学校	鹿児島県	中学校/高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
35	学校法人古川学園	上越高等学校	新潟県	高等学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)
36	鏡石町教育委員会	鏡石町立鏡石中学校	福島県	中学校	1年生, 2年生, 3年生	授業・成績処理・生徒指導(個別)

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

○導入による教員の業務効率化と変容



ピックアップされた生徒へ声掛け

学年別	出席状況	生徒の状態
1 探究 1年	対人関係 行動における課題 やり直ること	ありのままの自己紹介 コミュニケーションスキル 読みたす書き 自ら動出すかどうか 途中で投げ出すかどうか
2 探究 3年	対人関係 行動における課題 やり直ること	人の目を気にするかどうか 笑いが取れない他人関係の構築 自ら動出すかどうか 途中で投げ出すかどうか
4 探究 4年	対人関係	ありのままの自己紹介 コミュニケーションスキル
7 探究 5年	対人関係 行動における課題	笑いが取れない他人関係の構築 授業の保護者の意見や理解 計画的な作業の実行
8 探究 2年	対人関係 やり直ること	人の目を気にするかどうか 途中で投げ出すかどうか

注意すべき生徒を自動リストアップ  
**Edv Path**



抽出生徒へ状況ヒアリングを実施  
**学年団**

1学期での完全不登校が「ゼロ」に

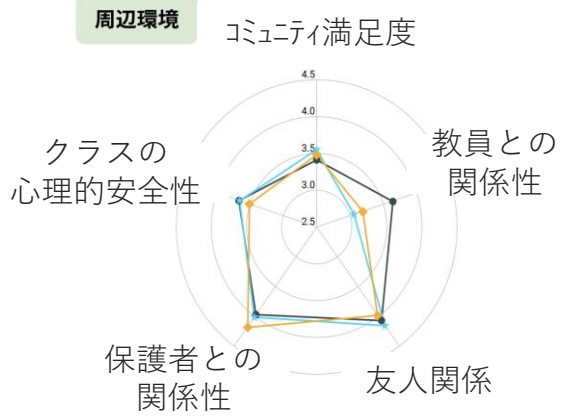
<例年の学校の様子>

入学したての1年生が前期で  
 約5~10%が学校に完全に来れなくなってしまう傾向  
 →生徒指導に関する状況把握/連携の時間を大幅に削減

<生徒の状態>

- ・1年生が学校へ安心感を抱く
  - ・困りや不安を教員等へ相談できる
- 他学年比較で「教員との関係性」が高水準に

※図中黒ラインが1年生の結果  
 になっており、教員との関係性の  
 高水準が明確になっている



## 定性的効果検証

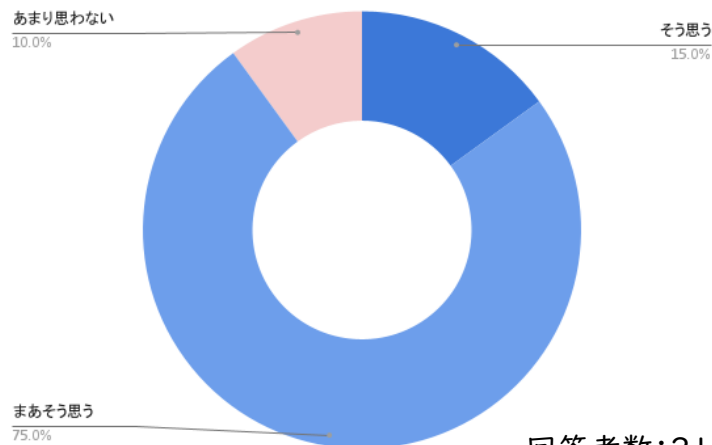
### ○教職員向けEdv Path研修会

#### ▼研修の概要 (対象課題: 生徒指導問題: 不登校や退学者数の増加による負担)

Edv Path受検後のデータの利活用にあたっての研修を行い、**受検後の支援や活用イメージを醸成**している。内容としては、①どのようなデータが取得されているのか、②アセスメントデータのケーススタディ研修、③**取得後のデータを用いた生徒面談への応用などについてのレクチャー**を行う。面談に向けた想定問答の準備などをデータを用いて行うことで、面談の準備をDXで効率化させることに寄与。

#### ▼教職員の反応

上記研修会を受講した教員のうち、過半数以上(約9割)が「**研修会を通じてEdv Pathの活用イメージ(生徒理解や生徒との対話のきっかけにするなど)を得ることができた**」と回答。



回答者数:21名



## 定性的効果検証

### ○生徒向けEdv Path特別授業

#### ▼特別授業の概要 (対象課題:コンテンツ問題:コンテンツ準備と実施の負担感)

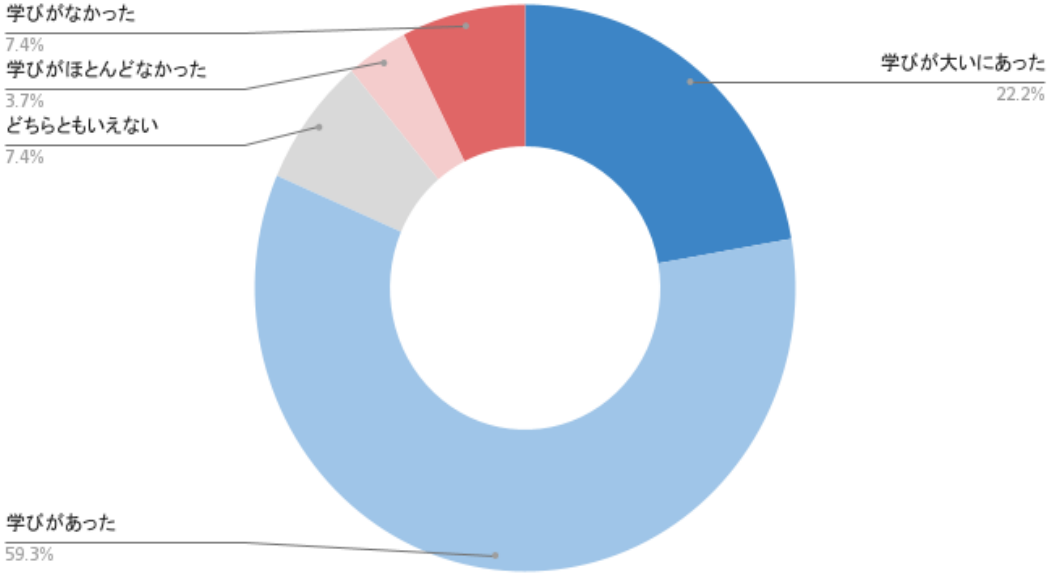
導入サポートを行なっている学校の状況等に合わせた授業コンテンツを実施。

Edv Future社員が特別講師となり、授業コンテンツの実施やEdv Path結果の振り返りについてレクチャーを行う。



#### ▼生徒の反応

本事業で授業コンテンツを受講したとある学校のアンケートより、8割以上の生徒が「Edv Pathを受講を通じた学びがあった」と回答。



回答者数:243名

## ■ Edv Path利用前後の児童/生徒/教職員のコメント

### ◇ 教職員からのコメント(一部掲載)

生徒のリフレクションやアセスメントデータは非常に有用で、面談や保護者対応前の情報共有に欠かせない指針となります。生徒自身もデータを閲覧でき、日々の記録が「日記」のように蓄積されるため、客観的な自己理解や成長を実感するきっかけにできました!(公立中学校 学年主任)

学校が抱えている課題というのがEdv Pathさんのアセスメント結果から改めて再認識することができました。校長として、次のステップに進んでいくために職員会議などでの問題提起をするきっかけになるデータとなり、教員集団の意識づくりにも活用させていただきました。(私立中高一貫校 校長)

### ◇ 生徒からのコメント(一部掲載)

- Edv Pathを通じて、分からない所を放置せず、みんなで、協力してやり、自分の考えや、周りの人の考えも参考にしながら、生活をするという事を、学びました。
- 定期的にアンケートをうけることで、自分のことを理解することができるのでこのアンケートをもとにがんばっていきましょうと思いました。
- 自分は前と比べて、自発性がのびた。僕の意識することは将来的なことを考えていないので、勉強をする目的を明確にさせる。将来どこの大学に行きたいか、どんな職業に就きたいかなど計画的に物事を行うことだと気づいた。

# ■ 探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

現状はWeb限定動作やログインの煩雑さ、教員の「非認知能力」に対する理解や事後指導のノウハウ不足が課題である。

改善策として、UI/UX刷新による操作性の向上と、学習プラットフォームとのデータ連携による利便性確保を進める。併せて、導入前説明の充実と高度な教員研修を新規開発することで、現場の知識不足を解消し、測定から活用まで自走できる体制を整える。

## 直面した課題

### 〈導入面〉

- ・現状ウェブサイトのみでの運営になっており、インターネット環境下でなければ動作/運用ができない。
- ・非認知能力について知らず、用語が難しいと感じてしまう教員がいる

### 〈運用面〉

- ・独立WEBアプリのため、ログイン画面への動線への慣れが必要となっている
- ・学校内でアセスメント実施から測定後のアプローチまで独自での実施が十分ではない
- ・ログイン情報を紛失してしまう生徒が一定数発生している

## 解決するための改善策

1. Edv Path全体のUI/UX改善を行うことで、学校全体や学年、コースごとなどの多種多様な動きに合わせることで、より使いやすいデザインへ改善させる。
2. 導入前の研修・説明会にて「非認知能力」についての説明を今以上に充実させる。そのほか、弊社開催の非認知能力に関するウェビナーを通じて啓蒙活動も行う。
3. 教員研修会の内容を新規開発し、高度な研修の実現を図る。
4. 学習プラットフォームとの連動をはじめとしたデータ基盤を用いた連携について検討を深める

## ■会社概要

社名	Edv Future株式会社(エデュフューチャー)
代表取締役	山崎 泰正
設立年月	2019年12月
本社	〒160-0022 東京都新宿区新宿2-11-7 第33宮庭ビル 5階
資本金等	300万円
売上高等	非公開
従業員数	20名(役員/業務委託含)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・生きる力を育む成長支援サービス「Edv Path」の運営 <a href="https://lp.edvpath.jp/">https://lp.edvpath.jp/</a></li><li>・中高生向けWebメディア「Edv Magazine」の運営 <a href="https://edvmagazine.jp/">https://edvmagazine.jp/</a></li></ul>

## ■お問い合わせ窓口

担当:Edv Future株式会社

電話:050-1790-7814(平日10時~19時まで)

Mail:support@edufuture.co.jp

## ミッション

未来ある子供たちの情報格差をなくして  
自ら意思決定できる人を増やす

## 認証・受賞等



ISO 27001  
BUREAU VERITAS  
Certification

